

カヤネズミ ネズミ科

カヤネズミは世界一小さいネズミです。ドブネズミやクマネズミなど人間の生活する場所にいるネズミと違い、河原や里山など自然の中にすんでいます。ススキやイネなどの葉で丸い巣を作ります。



形態・生態

カヤネズミの大きさは大人のネズミで頭から胴までは5～8センチメートル、尾の長さは6～8センチメートル、後ろ足の長さは15ミリメートル前後で、体重は7～14グラムです。背中の毛は暗い褐色で、おなかは白色をしています。

県内の分布

辰口町、鶴来町の手取川の河原や、加賀市の鴨池、大聖寺川の下流部でみつかっています。加賀地方の河川や潟などにも少数ですが、すんでいると言われています。

見つけやすい場所

低地の河原や、草地、水田、沼地などで、イネ科の植物が密にはえている場所にすんでいます。イネを用いて巣を作ることもあります。冬季は田んぼのあぜにもすんでいます。

見分け方のポイント

カヤネズミを見つけることはとてもむずかしいので、ふつうはカヤネズミの巣を探します。ヨシやススキ、チガヤなどイネ科植物の葉を用いて、地上から70～100センチメートルくらいの離れた場所で、丸い巣をつくります。

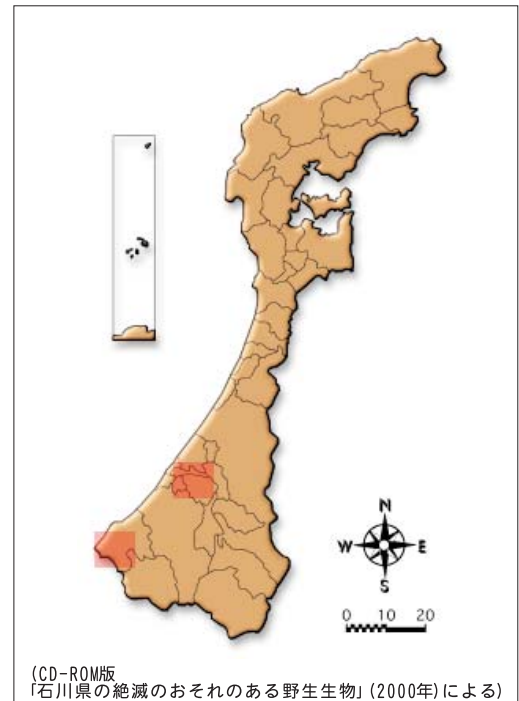
まちがいやすい種類

ハツカネズミと間違え易いのですが、カヤネズミは耳が小さく毛色はうすい茶色をしています。ハツカネズミは耳が大きく、毛色は灰色がかった茶色をしています。

カヤネズミの巣は、ヨシやススキの草原にすんでいるオオヨシキリなどの鳥も植物の葉を用いて巣を作るので間違えやすいのですが、巣を観察して、ついている毛がカヤネズミの毛か鳥の毛かで見分けることができます。

調べやすい時期

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月



カヤネズミ



ハツカネズミ

